

製品名: HoxD10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12177**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	HOXD10
別名	HOXD10; HOX4D; HOX4E; Homeobox protein Hox-D10; Homeobox protein Hox-4D; Homeobox protein Hox-4E
遺伝子 ID	3236.0
SwissProt ID	P28358
免疫原	抗血清はヒト HOXD10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

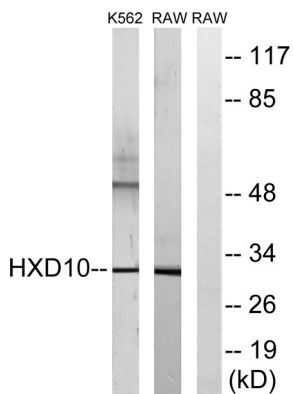
背景

この遺伝子は Abd-B ホメオボックスファミリーに属し、ホメオボックス DNA 結合ドメインを持つタンパク質をコードしています。

第2染色体に位置するホメオボックス D 遺伝子群に含まれています。コードされている核タンパク質は、発生中の肢芽で発現する配列特異的な転写因子として機能し、分化と肢の発達に関与しています。この遺伝子の変異は、ウィルムス腫瘍、先天性垂直距骨（「ロッカーボトム足」変形または先天性凸状外反足としても知られる）、および/またはシャルコー・マリー・トゥース病に見られる足の変形と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、発生段階：発生中の肢芽で発現。疾患：HOXD10 遺伝子の欠損は先天性垂直距骨（CVT）の原因となる[MIM:192950]。「ロッカーボトム足」変形または先天性凸状外反足としても知られています。CVT は距骨舟状骨関節の脱臼であり、距骨頸部を覆う舟状骨が背側に硬直脱臼します。この疾患は通常、複数の他の先天性変形を伴い、単独の変形であることはまれです。機能：細胞に前後軸上の特定の位置的アイデンティティを与える発生制御システムの一部である、配列特異的な転写因子。類似性：Abd-B ホメオボックスファミリーに属する。類似性：1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含む。組織特異性：成人男性および女性の泌尿生殖器系で強く発現する。

研究分野

画像データ



HOXD10 抗体を用いた K562 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。